

旧中央図書館 跡地活用方針（案）について

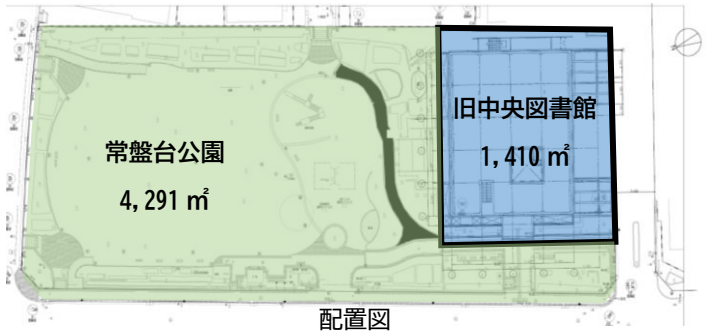
企画総務委員会資料
令和7年2月14日
政策経営部政策企画課

1 資産現況

所在地	常盤台一丁目13番1号
敷地面積	1,409.80㎡
建物現況	延床面積：2,907.23㎡ 構造：RC造、地上3階地下1階建 築年：昭和45(1970)年築
用途地域	第一種低層住居専用地域
建蔽率／容積率	50％／100％
備考	令和2年12月に閉館後、令和3年5月～令和5年8月までコロナワクチン接種会場として使用



周辺地図



配置図

2 これまでの検討経緯

- 令和2年8月、No.1 実現プラン 2021 に基づき、公共施設の配置検討の対象となっていた常盤台地区における再配置方針案として、区民事務所機能の移転や公園機能の拡充、駅周辺における自転車駐車場の安定的な運営といった課題を踏まえ、中央図書館跡地へ常盤台区民事務所を移転する考えを示した。
- 令和3年1月、1年前倒しで策定したNo.1 プラン 2025 では、社会環境の急激な変化を踏まえて公共施設の新規工事着工を原則先送りとしたことから、令和5年度以降に改めて旧中央図書館の跡地活用方針を決定することとした。
- 令和6年1月、No.1 プラン 2025 改訂版においてこれまでの考え方を見直し、令和6年度に旧中央図書館の跡地活用方針を検討することとした。

3 その後の社会環境の変化

- 【区全体】
 - 令和7年度に終期を迎える基本構想・基本計画について、10年後を見据えた新たなビジョン等の検討を進めている。
 - 板橋・大山・上板橋の各駅周辺のまちづくりが同時並行で進展し、高島平では連鎖的都市再生に向けた計画を策定した。
- 【周辺地域】
 - ときわ台駅北口の自転車駐車場は民有地を借用している場所が多く、継続的な行政サービスの提供の面で課題がある。
 - ときわ台駅周辺地区において、まちづくりマスタープラン策定に向けて令和6年3月にまちづくり協議会が設立された。

4 区民の意見等

- これまでに開催してきた住民説明会（令和元年度～令和2年度に実施）での主な意見は以下のとおり。
 - ・元々公園だったので、建物を建てるのではなく公園とすべき。
 - ・自転車駐車場は地下につくるのが望ましい。
 - ・常盤台の景観の維持の視点が必要。
 - ・文化的な施設があるのが望ましい。
- 区議会において、令和元年度から令和2年度にかけて中央図書館跡地に音楽ホール建設を求める主旨の陳情が3件不採択となっており、令和6年度に住民説明会の実施と住民意見の反映を求める主旨の陳情が全会一致で採択となっている。

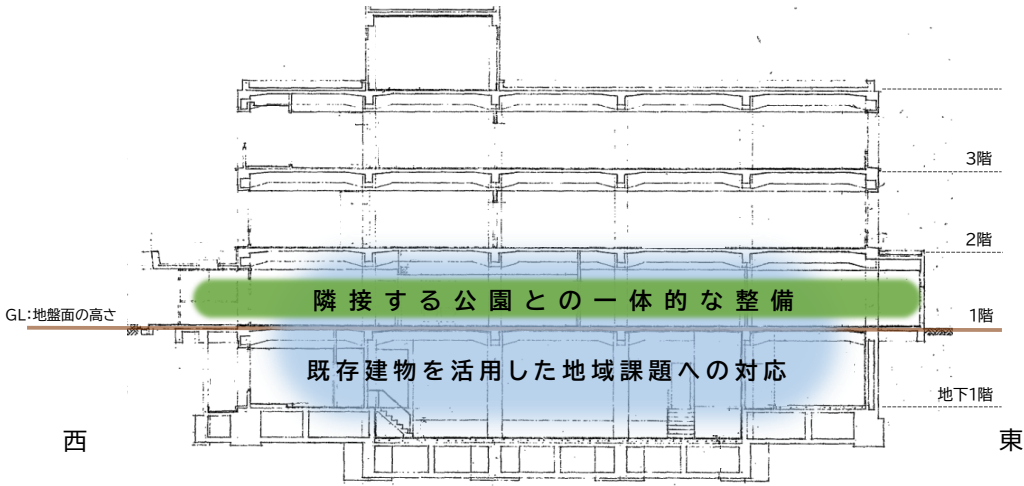
5 旧中央図書館 跡地活用方針(案)

(1) 基本的な考え方

- 常盤台のまちづくりのこれまでの経緯、コロナ禍以降における区を取り巻く環境や行政需要の変化、区民の意見等を踏まえ、周辺まちづくりの動きを見据えながら、公園と隣接する立地を活かして、魅力とサービス・機能向上を図る観点から、旧中央図書館の跡地活用方針を策定する。
- 公共施設等の整備に関する基本方針（施設総量の抑制、耐用年数の延伸、区有財産の有効活用）を踏まえ、地域課題に対応するために必要な機能を確保することを基本とする。

(2) 旧中央図書館活用方針

- 隣接する常盤台公園と一体的に活用することで、近隣住民に親しまれる、地域の魅力やブランドの創出・向上に資する整備をする。
- 地域課題を解決するため、跡地活用の中で、ときわ台駅周辺の安定的な自転車駐車場運営を実現していく。
- 跡地の既存建物の有効活用を視野に入れて検討し、環境負荷の低減と費用対効果の向上の実現をめざす。



活用イメージ（既存建物断面図：西-東）

(3) 今後のスケジュール案

- 令和7年2月 議会報告
- 令和7年3月 説明会
- 令和7年度 (11月) 区議会報告：検討状況 (2月) 区議会報告：中間のまとめ
- 令和8年度 (9月) 区議会報告：構想・計画素案 (2月) 区議会報告：構想・計画原案

※適宜、地域・団体・関係機関等との意見交換や住民説明会を開催するほか、区のホームページやSNS・パブリックコメントの実施などを通じた意見募集など広く意見等を伺いながら検討を進めていく。

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度～
方針策定●	整備構想・計画策定		設計・工事